

三菱電機ナビゲーションシステム
■ NR-HZ001/MZ10/MZ50 無印対応
ステアリングリモコンキット
スバル車用

取り付け解説書

Galleya

安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触するがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかって、煙ができる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたるところなどへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

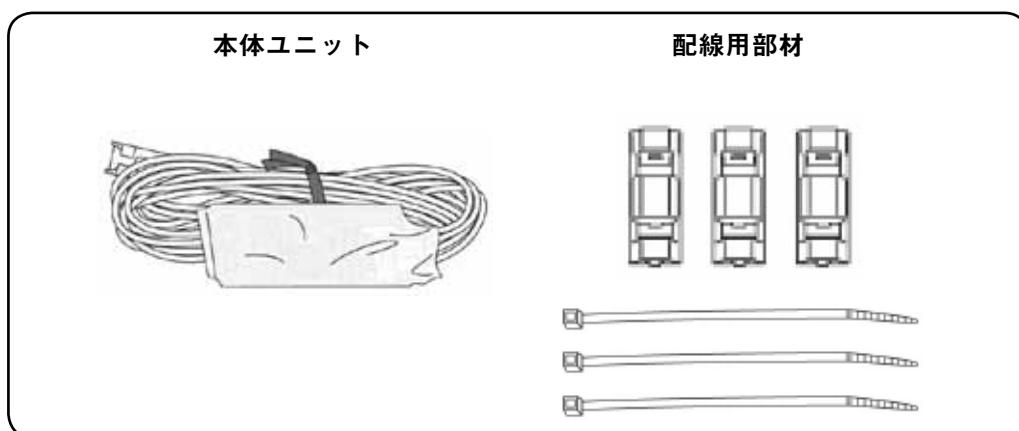
はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両、カーナビ	5
取り付けに関する注意事項	5
スバル車用の取り付け方法	6
8 極力プラと 14 極力プラを採用している車種への接続	8
14 極力プラのみで LAN ユニットが介在していない車種への接続	9
14 極力プラと 20 極力プラを採用している車種への接続	10
14 極力プラのみで LAN ユニットが介在している車種への接続	11
20 極力プラを採用している車種への接続	12
20 極力プラと 6 極力プラを採用している車種への接続	13
2010.7～のインプレッサについて（形式 GVB/GVF）	14
カーナビ側への配線の接続	16
トラブルシューティング	17

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品がありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 本体ユニット | 1台 |
| 2. 取り付け解説書（本解説書） | 1部 |
| 3. 保証書（取り付け解説書に記載） | 1部 |
| 4. 配線用部材（ワントッチコネクタなど） | 数個（製品により異なります） |



各配線の説明

ユニット本体からは7本の配線が出ています。使用している電線はAWG22（約0.33SQ相当）ですので、添付品以外のワントッチコネクター或は配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

黒	(-) GND（車両アース）
赤	(+) +12V アクセサリー電源
黄	(+) ステアリングスイッチ入力1
桃	(+) ステアリングスイッチ入力2（未使用の場合があります）
茶	(-) ステアリングスイッチ GND 出力
水	(-) カーナビ用コントロール出力

動作について

- ◇本ユニットを取り付けると、ステアリングスイッチでカーナビを安全に操作できるようになります。
- ◇ステアリングスイッチは MODE、VOL+、VOL-、SEEK+、SEEK- の 5 ボタンがお使いいただけます。

MEMO

- ステアリングスイッチの全ボタンが使用できない場合がありますが正常です。

取り付けできる車両、カーナビ

■ステアリングスイッチ付きのスバル車で、ステアリングスイッチに他の機器の配線が接続されていない事

- ※後付けてスイッチを取り付けた場合は、一部車種を除いて対応不可です。
- ※対応できない車種もありますので、適合表で確認してください。
- 三菱カーナビ NR-HZ001 シリーズ、NR-MZ10、NR-MZ50
- ※ NR-MZ50N、NR-MZ60、NR-HZ700 シリーズ、NR-HZ750 シリーズにはお使いいただけません。

- 取り付けに関する注意事項
- ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意してください。
- 取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当社は一切責任を負いません。
- 本品はカー AV システム制御専用です。その他の機器の制御に使用しないでください。

スバル車用の取り付け方法

ユニットの配線はオーディオカプラの配線へ接続します。年式／車種によりコネクタの極数及び接続先のピン位置が異なります。良く確認の上、確実に接続を行ってください。

※ステアリングスイッチを後付した場合は配線がありませんので、対応不可となります（一部車種を除く）。

■ 8極と14極の2つのオーディオカプラを採用している車種の場合

8極と14極の2つのカプラがある場合は、配線接続はオーディオ裏のみで完了します。

8極と14極カプラを採用している車種

2006.5～2009.5	レガシィ、レガシィアウトバック ※除くマッキントッシュオーディオ仕様
2008.6～2010.8	エクシーガ ※一部グレード

■ 14極のオーディオカプラは存在するが、8極のカプラが無い場合

8極カプラが無い場合は、LANユニットというユニットがステアリングスイッチとオーディオカプラの間に介在している場合と、14極カプラに統合されている場合があります。

14極カプラのみで、LANユニットが介在している車種

2006.5以前	レガシィ、レガシィアウトバック
----------	-----------------

14極カプラのみで、LANユニットが介在していない車種

2006.5～2009.5	レガシィ、レガシィアウトバックのマッキン トッシュオーディオ仕様
---------------	-------------------------------------

14極カプラと24極カプラが存在する車種（8極カプラは無し）

2006.5～2009.5	レガシィ、レガシィアウトバック、インプレッ サの純正ナビ付き車の一部
---------------	---------------------------------------

[次ページに続く](#)

スバル車用の取り付け方法（続き）

※ステアリングスイッチを後付した場合は配線がありませんので、対応不可となります（一部車種を除く）。

■ 20極のオーディオカプラを採用している車種

20極のオーディオカプラがある下記の車種は、オーディオ裏のみでの接続作業となります。

20極のカプラを採用している車種

2007.6～2010.6	GH型インプレッサ
2007.12～2010.10	SH型フォレスター
2008.6～2010.8	YA型エクシーガ
2009.5～現行	BR型レガシィ・レガシィアウトバック
2011.12～現行	GJ型インプレッサ G4
2011.12～現行	GP型インプレッサ SPORT

■ 20極カプラと6極カプラを採用している車種

20極のオーディオカプラがあり、新型のステアリングスイッチを採用している下記の車種はオーディオ裏のみでの接続作業となります。

※新型ステアリングスイッチにはミュートボタンがありません

20極のカプラと6極カプラを採用している車種

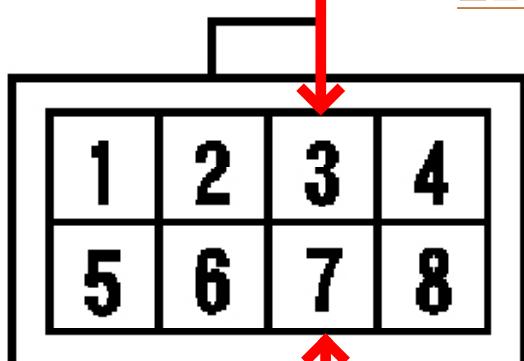
2010.7～現行	GVB/GVF型インプレッサ WRX STI
2010.6～現行	GH型インプレッサ
2010.10～現行	SH型フォレスター
2010.8～現行	エクシーガ

8極と14極カプラを採用している車種への接続

8極コネクタ

ステアリングスイッチ GND

ユニット茶を接続

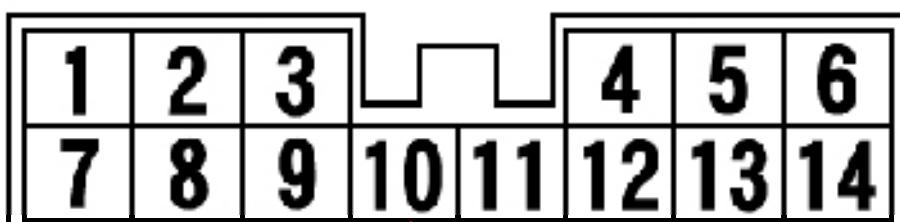


※8極コネクタは複数
ある場合があります
(小さいコネクタです)

ステアリングスイッチ SW1

ユニット黄を接続

14極コネクタ



+12V アクセサリー (ACC) 電源 ユニット赤を接続

※本ユニットの桃は未使用としてください

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
黄	⇒	ステアリングスイッチ SW1
茶	⇒	ステアリングスイッチ GND

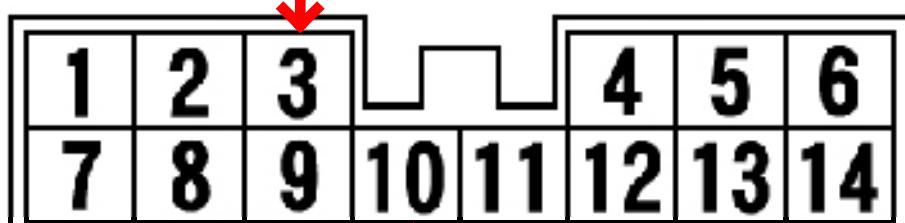
14極カプラのみで LANユニットが介在していない車種への接続

※マッキントッシュオーディオシステム搭載車で採用

14 極コネクタ

ステアリングスイッチ GND

ユニット茶を接続



ステアリング
スイッチ SW1

ユニット黄を接続

車両アース

ユニット黒を接続

+12V アクセサリー (ACC) 電源

ユニット赤を接続

※本ユニットの桃は未使用としてください

※ ACC 電源ピンを基準にして接続先のピン位置を判断してください。

※ステアリングスイッチ(+)及びステアリングスイッチ(-)が他の機器(カーオーディオ/カーナビ等)に接続されている場合は本ユニットを接続しないでください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続してください

ユニット配線色 ⇒

カプラ

赤

⇒

+12V アクセサリー (ACC) 電源

黒

⇒

車両アース

黄

⇒

ステアリングスイッチ SW1

茶

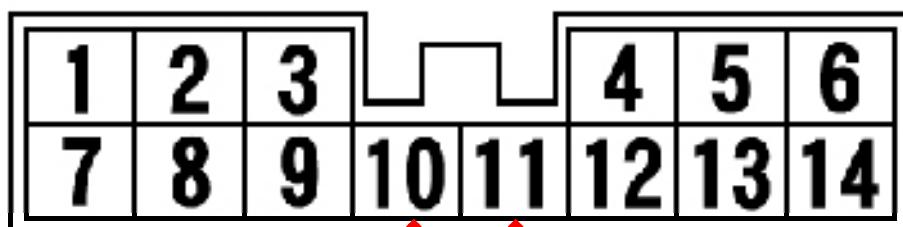
⇒

ステアリングスイッチ GND

14極カプラと24極カプラを採用している車種への接続

※純正ナビ付き車の一部で採用

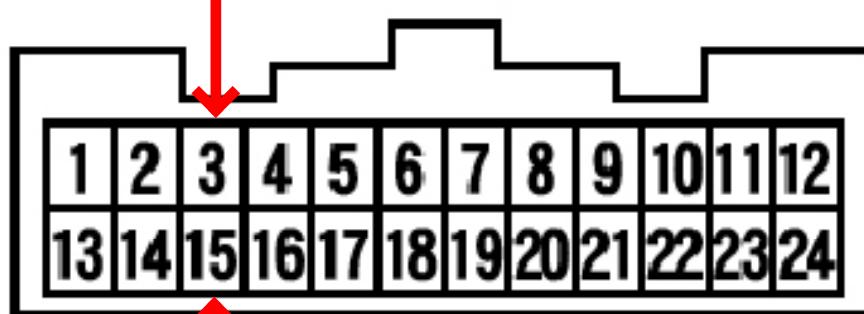
14極コネクタ



車両アース ユニット黒を接続
+12V アクセサリー (ACC) 電源 ユニット赤を接続

24極コネクタ

ステアリングスイッチ GND ユニット茶を接続



ステアリングスイッチ SW1 ユニット黄を接続

※本ユニットの桃は未使用としてください

MEMO

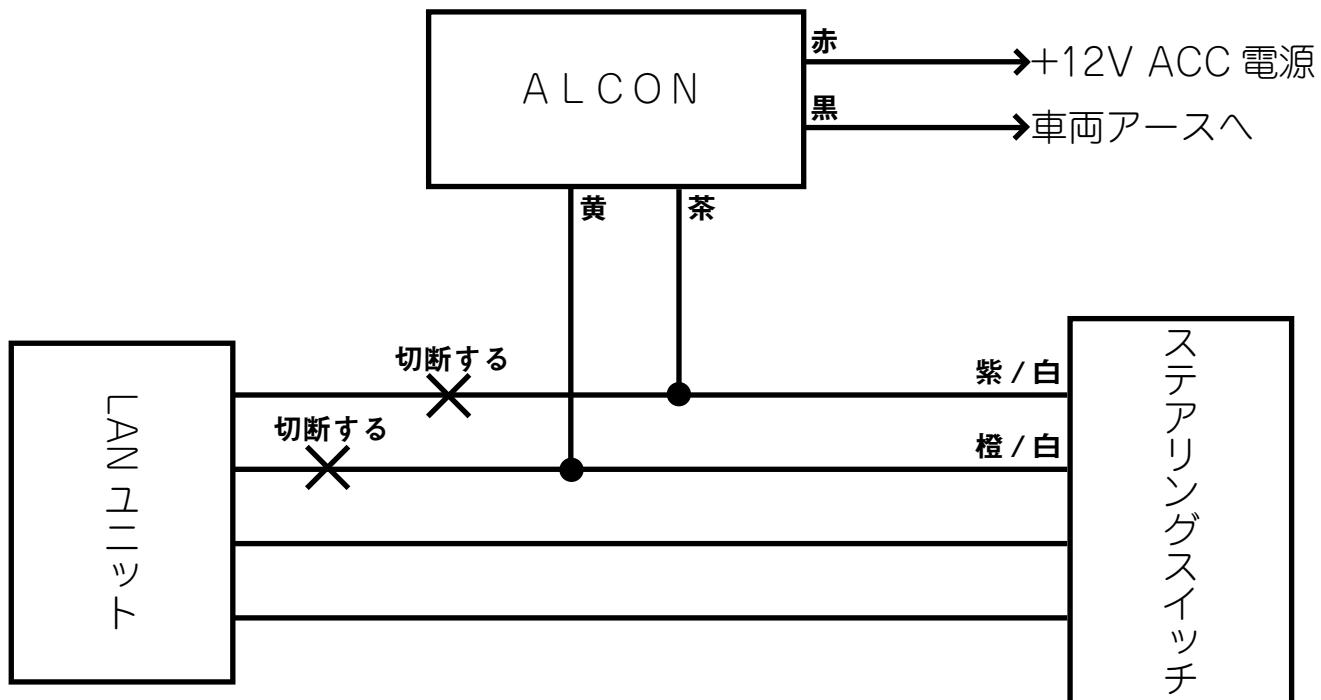
本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
黄	⇒	ステアリングスイッチ SW1
茶	⇒	ステアリングスイッチ GND

1 4極力プラのみで LAN ユニットが介在している車種への接続

※ 2006.5 以前の C 型レガシイ、レガシーアウトバックへの接続について

C型レガシイ／レガシーアウトバックでは、本ユニットの配線を LAN ユニット部又は、ステアリングスイッチへ直接接続してください。



※本ユニットの桃は未使用としてください

※黄と茶はステアリングスイッチの配線上ならどこで接続してもかまいませんが、ステアリングスイッチから LAN ユニットへの配線は切断されるようにしてください。

※ LAN ユニットの位置は、車種やグレードにより異なります。
お手数ですがディーラー様にてお尋ねください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

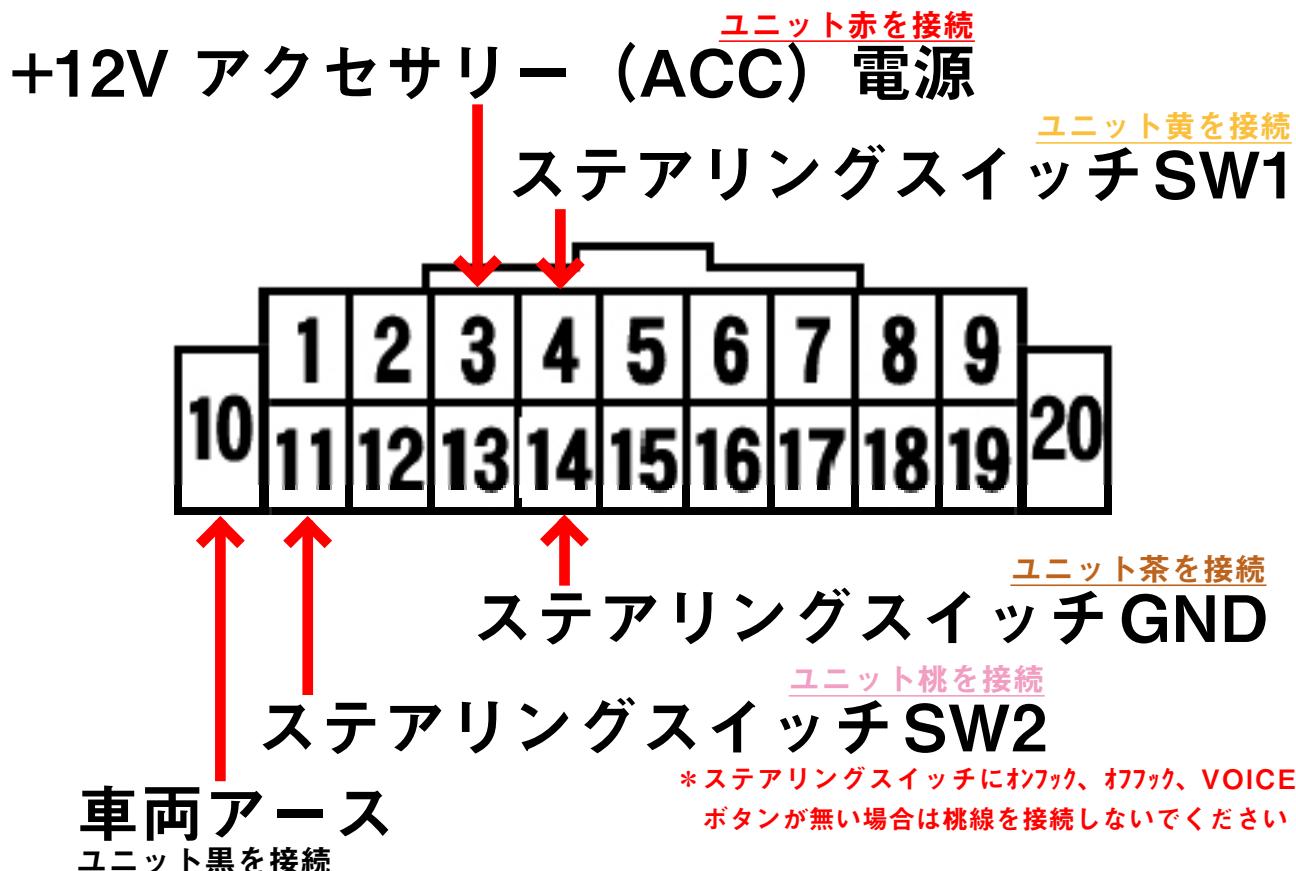
(C型レガシーアウトバックの資料です)

- | | |
|---|---|
| 黒 | ⇒ 車両アース (オーディオ裏 14極力プラ 11番) |
| 赤 | ⇒ ACC 電源 (オーディオ裏 14極力プラ 10番) |
| 黄 | ⇒ LAN ユニットの 4 番 (橙 / 白) を切断してステアリングスイッチ側に接続する |
| 茶 | ⇒ LAN ユニットの 7 番 (紫 / 白) を切断してステアリングスイッチ側に接続する |

20極カプラを採用している車種への接続

20極コネクタ

※下図は純正コネクタをコンタクト面から見た図です



※ナビ系ボタンがある場合のみ 11 番を接続してください

11 番に ALCON の桃線を接続するとオンフック、オフック、VOICE の 3 ボタン
が使用可能となります。

* 11 番に配線が無い場合は対応できません

※ 11 番ピンの「ステアリングスイッチ 2」はナビ系ボタン用です。ナビ系ボタン（オンフック、オフック、VOICE）が車両に無い場合は必ず未接続としてください。

M E M O

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

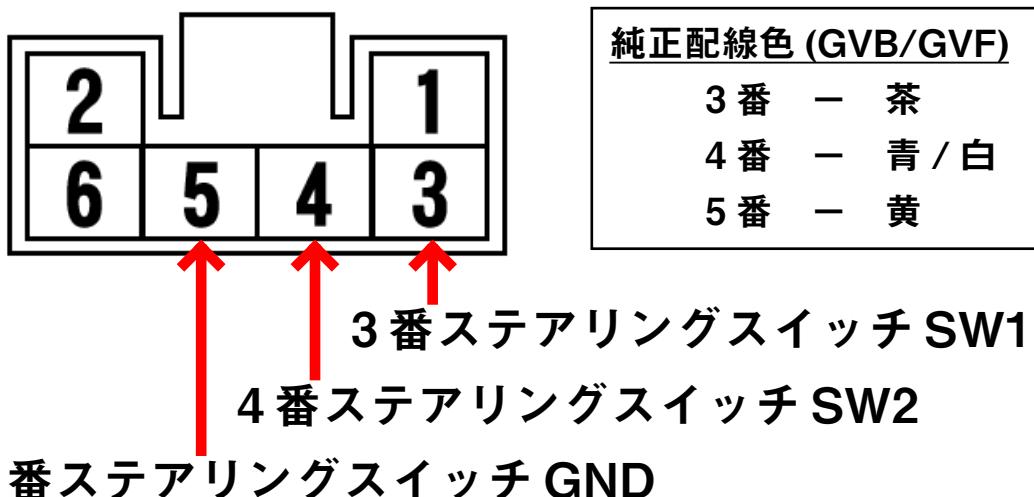
ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	3 番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	10 番車両アース
黄	⇒	4 番 ステアリングスイッチ SW1
桃	⇒	11 番ステアリングスイッチ SW2
茶	⇒	14 番ステアリングスイッチ GND

20極カプラと6極カプラを採用している車種への接続

■ 2010.7～のGVB/GVFインプレッサ等、新型のステアリングスイッチを採用している車種は、カーナビ裏に6極コネクタがありますので、そのコネクタへ接続します。

※メーカーオプションナビ付き車のみ

カーナビ裏6極ステアリングスイッチコネクタ



※メーカーオプションナビ付き車のみ
6極コネクタが存在します。

※ユニットの電源線（赤・黒）は、カーナビ・カーオーディオのハーネスから分岐接続してください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	カプラ
赤	⇒ +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒ 車両アース
黄	⇒ 3番ステアリングスイッチ SW1
桃	⇒ 4番ステアリングスイッチ SW2
茶	⇒ 5番ステアリングスイッチ GND

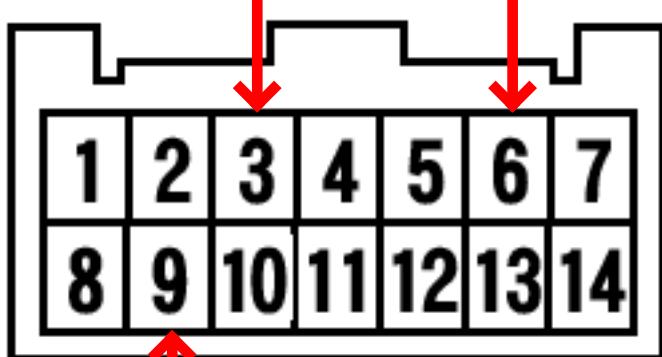
2010.7～のインプレッサについて（型式 GVB/GVF）

■オーディオレス等で、ステアリングスイッチを後付けした場合はコラムカバー内のロールコネクタ部で結線してください。

ロールコネクタ 14極コネクタ

3番ステアリングスイッチ SW1

6番ステアリングスイッチ SW2



純正配線色 (GVB/GVF)

3 番	—	赤
6 番	—	緑
9 番	—	水

9番ステアリングスイッチ GND

※ロールコネクタはエアバッグ配線等
もありますので間違えない様に接続
してください

※ユニットの電源線（赤・黒）は、カーナビ・カーオーディオのハーネスから分岐接続してください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続してください

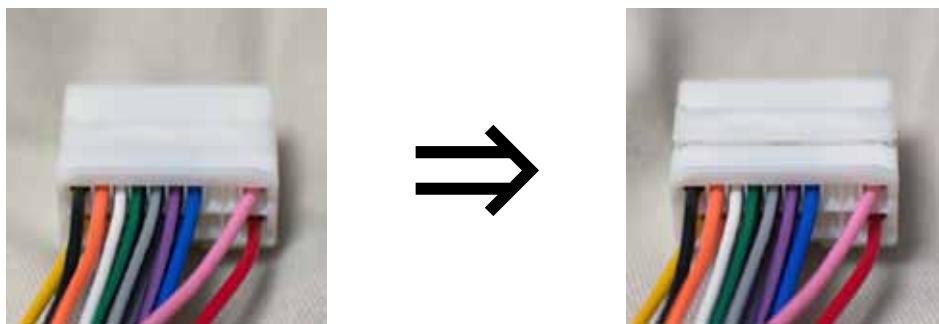
ユニット配線色	カプラ
赤	⇒ +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒ 車両アース
黄	⇒ 3番ステアリングスイッチ SW1
桃	⇒ 6番ステアリングスイッチ SW2
茶	⇒ 9番ステアリングスイッチ GND

MEMO

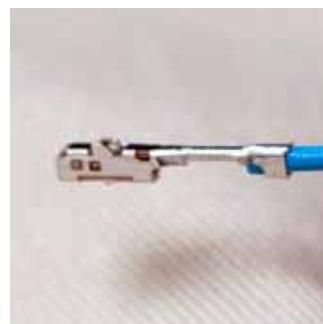
カーナビ側への配線の接続

■ユニットの水色線は、カーナビのメインコネクタへ差し込みます。

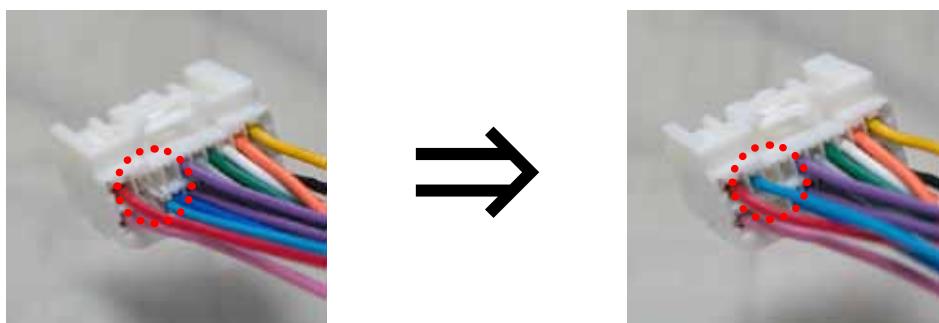
1. コネクタの裏側にある「リテーナ」を画像のように少し浮かせます。



2. 端子には向きがあります。右側写真の向きにして差し込みます。



3. 上の列の左から2番目（赤の隣）へ端子を確実に差し込みます。



4. リテーナを元通り押し込みます。



MEMO

- ※リテーナを浮かさないと端子が挿入できません。
- ※端子は一度差し込むとロックされて抜くことができなくなりますので、差し込む位置を間違えない様にしてください。

トラブルシューティング

■ACCをONにしたときに赤・緑色LEDが点滅・点灯しない

電源線（赤、黒）の接続を確認してください。アース（黒線）をカーナビのボデー部で接続している場合は、カーナビの金具を固定しないとアースされない場合がありますので確認します。

■ACCをONにしたときに緑色LEDが点滅⇒点灯と変化する

ステアリングスイッチ入力線（茶、黄）の接続を確認してください。桃線は必ず未接続とし、絶縁処理してください。

■ステアリングスイッチが作動しない

1. ステアリングスイッチを押すと緑色LEDが点灯する場合は、カーナビ側の端子が正しい位置に差し込まれている事を確認します。
2. ステアリングスイッチを押しても緑色LEDが点灯しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶、黄）の接続を確認してください。
3. ステアリングスイッチを押していなくても緑色LEDが点灯している場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶、黄）の接続を確認してください。桃線は必ず未接続とし、絶縁処理してください。

■カーナビが勝手に作動する

ステアリングスイッチ入力線（茶、黄）の接続を確認してください。桃線は必ず未接続とし、絶縁処理してください。

■本ユニットを接続すると、カーナビが操作できなくなる

ステアリングスイッチ入力線（茶、黄）の接続を確認してください。桃線は必ず未接続とし、絶縁処理してください。

MEMO

MEMO

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品 番	GAP-SCVD11	
保 証 期 間	お買い上げ日から 3 年間	
お買上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お 客 様	ご住所	
	お名前 様	
	電話 () -	
販 売 店	住所・店名	
	電話 () -	

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南3丁目7-11 電話 06-6131-6300